

授業計画(シラバス)

科目名	ファッション販売論 I	指導担当者名	舞木 克奈子
実務経験	アパレル企業実務経験9年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	2 単位	総時間	30 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションビジネスを展開するために必要な、抽象性と物理性の両方の知識と技術を学ぶ。 ・ファッション販売能力検定3級取得。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	テキスト 一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「ファッション販売3」、「ファッション販売3 3級公式問題集」		
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行った内容の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	1 ファッション販売知識	テキスト準備 ファッションとは/ファッション販売について
	2	1 ファッション販売知識	テキスト準備 ファッション小売業の業種・業態
	3	1 ファッション販売知識	テキスト準備 お客様にとって店とは/お客様について
	4	1 ファッション販売知識	テキスト準備 ライフスタイルショップ
	5	1 ファッション販売知識	テキスト準備 販売スタッフの基本マナー
	6	2 ファッション販売技術	テキスト準備 購買心理の理解/買い物の仕方
	7	2 ファッション販売技術	テキスト準備 接客の基本とコンサルティングセールス
	8	2 ファッション販売技術	テキスト準備 包装/贈答のマナー
	9	3 商品知識	テキスト準備 アイテムの知識/インナーウェアの知識
	10	3 商品知識	テキスト準備 服飾雑貨/素材の種類と加工/シルエットの知識
	11	3 商品知識	テキスト準備 衣服の構成とディテール/柄の種類と特徴
	12	3 商品知識	テキスト準備 色彩と配色の知識
	13	3 商品知識	テキスト準備 サイズの知識
	14	3 商品知識	テキスト準備 商品の品質管理/副資材の種類
	15	3 商品知識	テキスト準備 店舗環境づくり
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ファッション販売論 I		指導担当者名	舞木 克奈子	
実務経験	アパレル企業実務経験9年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科1年		
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数	2 単位	総時間	30 時間	週時間数	2 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションビジネスを展開するために必要な、抽象性と物理性の両方の知識と技術を学ぶ。 ・ファッション販売能力検定3級取得。 				
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	テキスト 一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「ファッション販売3」、「ファッション販売3級公式問題集」				
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行った内容の復習。				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 後 期	1	ECサイト	ECサイトの運営方法、業務内容		
	2	インフルエンサーについて	SNSを利用したPR		
	3	リーダーシップの作り方	チーム作り		
	4	チームビルディング	行動目標の共有		
	5	ミーティングのやり方	報告・連絡・相談、モチベーションを上げる		
	6	ディベロッパーとのコミュニケーション	営業担当にサポートしてもらう		
	7	データ管理と改善力	売上管理、在庫管理		
	8	クレーム対応	クレームの電話対応、商品交換		
	9	骨格タイプの見分け方	似合う服の提案		
	10	コーディネート接客	ニーズを踏まえた提案		
	11	試着対応	試着の際の接客		
	12	メール対応	メールでのやり取り		
	13	電話対応	電話での対応方法		
	14	DM	DMの内容、メッセージの書き方		
	15	これからのファッション業界について	市場の流れ、デジタル化など		
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	ファッション学 I	指導担当者名	舞木 克奈子
実務経験	アパレル企業実務経験9年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	2 単位	総時間	30 時間 週時間数 1 時間
学習到達目標	戦後から今日まで様々に変化したファッションの歴史、ファッション・コーディネートの種類、ファッション・ビジネス、商品知識や企画の立て方など、スタイリストとしての基本的な知識、専門技術を理解させる。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	学校法人 文化学園 文化出版局 発行「スタイリスト&コーディネーターの条件」/モードエモード		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	第1章 これから必要とされるスタイリスト、コーディネーター	テキスト準備 ファッション概論 / ファッションとは 等
	2	第1章 これから必要とされるスタイリスト、コーディネーター	テキスト準備 スタイリストとは / スタイリストの仕事の種類と分類 等
	3	第1章 これから必要とされるスタイリスト、コーディネーター	テキスト準備 スタイリストの仕事 等
	4	第1章 これから必要とされるスタイリスト、コーディネーター	テキスト準備 ウェディングプランナーとスタイリスト 等
	5	第1章 これから必要とされるスタイリスト、コーディネーター	テキスト準備 ヘアメイクアップアーティスト 等
	6	第1章 これから必要とされるスタイリスト、コーディネーター	テキスト準備 インテリアコーディネーター / カラリスト 等
	7	第2章 色の知識と基本的な技術	テキスト準備 色の体系 / 色彩 / 色の効果 / 流行色とファッション情報 等
	8	第3章 戦後ファッション概観	テキスト準備 着物文化から洋服文化へ 等
	9	第3章 戦後ファッション概観	テキスト準備 経済高度成長期 マスプロ、マスセル 等
	10	第3章 戦後ファッション概観	テキスト準備 経済低成長期 スタイリストの誕生(量から質へ)
	11	第3章 戦後ファッション概観	テキスト準備 バブル経済 DCブランド～インポートブランド
	12	第3章 戦後ファッション概観	テキスト準備 ラグジュアリーブランドの発展
	13	第3章 戦後ファッション概観	テキスト準備 国際的な不況の時代 ファストファッション アジアの時代
	14	第4章 ファッションコーディネート技術の必要性	テキスト準備 ファッションコーディネートの基本原理 等
	15	第4章 ファッションコーディネート技術の必要性	テキスト準備 素材の組み合わせによるコーディネート 等
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ファッション学 I	指導担当者名	舞木 克奈子
実務経験	アパレル企業実務経験9年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	2 単位	総時間	30 時間 週時間数 1 時間
学習到達目標	戦後から今日まで様々に変化したファッションの歴史、ファッション・コーディネートの種類、ファッション・ビジネス、商品知識や企画の立て方など、スタイリストとしての基本的な知識、専門技術を理解させる。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	学校法人 文化学園 文化出版局 発行「スタイリスト&コーディネーターの条件」/モードエモード		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	第4章 ファッションコーディネート技術の必要性	テキスト準備 イメージの組合せによるコーディネート
	2	第4章 ファッションコーディネート技術の必要性	テキスト準備 ライフスタイルによるコーディネート
	3	ブランド調査	モードエモード・WEB・市場調査
	4	ブランド調査	ブランドの歴史について
	5	ブランド調査	ブランドデザイナーについて
	6	ブランド調査	マップ作成
	7	ブランド調査	プレゼンテーション
	8	ファッション映画について	ファッション映画鑑賞・レポート作成
	9	ファッション専門用語	テキスト準備 ファッション用語集
	10	ファッション専門用語	テキスト準備 ファッション用語集
	11	ファッション専門用語	テキスト準備 ファッション用語集
	12	ファッション専門用語	テキスト準備 ファッション用語集
	13	ファッション専門用語	テキスト準備 ファッション用語集
	14	シーンにあわせたコーディネート	冠婚葬祭のファッションマナー
	15	ニュアンスコーデ・ドレスコード	ニュアンスコーデ・ドレスコードDAYレポート作成
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	素材学	指導担当者名	笹原 和加子
実務経験	パタンナー 実務経験22年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	2 単位	総時間	30 時間 週時間数 1 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・アパレル製品や各自制作物の素材に関心を持たせる。 ・衣服の構成要素である繊維、糸、布地の種類や特徴についての基礎知識を習得する。 ・綿、毛、絹織物の種類に関して、教材を活用しながら、糸の構造や織物組織などの特徴に着目させ理解を図る。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	文化ファッション大系 服飾関連専門講座3「アパレル素材論」/表生地標本		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	アパレルと素材	人間の生活路繊維/ファッションとアパレル/アパレル産業の流通経路
	2	アパレルと素材	アパレルと素材企画
	3	繊維	繊維とは/繊維の分類/天然繊維と化学繊維
	4	糸	糸の歴史と発達/糸とは/糸のできるまで
	5	糸	紡績糸とフィラメント糸の種類/糸の構造/その他の糸
	6	布地	布地/織物①
	7	布地	織物②
	8	布地	織物③
	9	布地	織物④
	10	布地	織物⑤
	11	布地	織物⑥
	12	布地	織物⑦
	13	布地	ニット
	14	布地	その他の布地
	15	前期期末テスト	筆記テスト
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	素材学	指導担当者名	笹原 和加子
実務経験	パタンナー 実務経験22年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習:
時間数(通年)	2 単位	総時間	30 時間
		週時間数	1 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・アパレル製品や各自制作物の素材に関心を持たせる。 ・衣服の構成要素である繊維、糸、布地の種類や特徴についての基礎知識を習得する。 ・綿、毛、絹織物の種類に関して、教材を活用しながら、糸の構造や織物組織などの特徴に着目させ理解を図る。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	文化ファッション大系 服飾関連専門講座3「アパレル素材論」/表生地標本		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	仕上げ加工	布地の仕上げ加工の目的
	2	仕上げ加工	繊維別仕上げ加工①
	3	仕上げ加工	繊維別仕上げ加工②
	4	仕上げ加工	目的別仕上げ加工
	5	その他のアパレル素材	天然皮革
	6	その他のアパレル素材	人造皮革
	7	その他のアパレル素材	毛皮
	8	その他のアパレル素材	人口毛皮
	9	その他のアパレル素材	羽毛
	10	その他のアパレル素材	合成樹脂(プラスチック)
	11	その他のアパレル素材	ゴム
	12	その他のアパレル素材	裏地と芯地
	13	その他のアパレル素材	副資材
	14	その他のアパレル素材	縫い糸
	15	後期期末テスト	筆記テスト
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ファッションビジネス論 I	指導担当者名	舞木 克奈子
実務経験	アパレル企業実務経験9年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	6 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションビジネス業界へ就職し、自らが希望する職種で活躍する際に必要な知識・技術を習得させる。 ・デザイン/マーケティング情報を駆使し、商品企画から商品生産、流通、販売促進などの専門知識と技術の習得。 ・企画・創造力・洞察力等・総合的な能力を向上させる。 ・ファッションビジネス検定3級取得を目指す。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「ファッションビジネス3」/項目別試験問題集/資料配布		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおく。授業内で行う例題(問題)の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	第1章 ファッションビジネスの概要	テキスト準備 1.ファッション、デザインの定義と特性
	2	第1章 ファッションビジネスの概要	テキスト準備 2.衣服とアパレルデザインの基礎知識、3.繊維とアパレル基礎知識
	3	繊維ファッション産業の流れ	テキスト準備 繊維ファッション産業の流れ 等
	4	繊維について	県内特有の繊維(川俣シルク)とは
	5	課外授業	繊維工場の見学 / 織物体験(川俣シルク) / レポート作成・提出
	6	第1章 例題(練習問題)	テキスト準備 練習問題の実施 / 解答・解説
	7	第2章 ファッション消費と消費者行動	テキスト準備 消費者行動とファッション表現 等
	8	ライフスタイルとファッション	テキスト準備 ライフスタイルとは 等
	9	お客様の購買行動	テキスト準備 お客様・顧客 / 購買行動 等
	10	第2章 例題(練習問題)	テキスト準備 練習問題の実施 / 解答・解説
	11	第2章 例題(練習問題)	テキスト準備 練習問題の実施 / 解答・解説
	12	第3章 アパレル産業と小売産業	テキスト準備 アパレル産業の概要 等
	13	第3章 アパレル産業と小売産業	テキスト準備 アパレル産業の概要 等
	14	ファッション小売産業の概要	テキスト準備 小売企業とは / 百貨店 / 量販店 / 専門店 等
	15	ファッション小売産業の概要	テキスト準備 小売企業とは / 百貨店 / 量販店 / 専門店 等
	16	前試験範囲の復習 / 前期試験	テキスト / 試験問題 準備
	17	試験フィードバック/第3章 例題(練習問題)	テキスト準備 練習問題の実施 / 解答・解説
	18	期末試験	テキスト / 試験問題 準備
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ファッションビジネス論 I	指導担当者名	舞木 克奈子
実務経験	アパレル企業実務経験9年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	6単位	総時間	90時間 週時間数 3時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションビジネス業界へ就職し、自らが希望する職種で活躍する際に必要な知識・技術を習得させる。 ・デザイン/マーケティング情報を駆使し、商品企画から商品生産、流通、販売促進などの専門知識と技術の習得。 ・企画・創造力・洞察力等・総合的な能力を向上させる。 ・ファッションビジネス検定3級取得を目指す。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「ファッションビジネス3」/項目別試験問題集/資料配布		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおく。授業内で行う例題(問題)の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後期	1	第1章 ファッションビジネスの概要	テキスト準備 1.ファッション、デザインの定義と特性
	2	第1章 ファッションビジネスの概要	テキスト準備 2.衣服とアパレルデザインの基礎知識、3.繊維とアパレル基礎知識
	3	第2章 ファッションコーディネート	テキスト準備 1.コーディネートの基礎知識、2.ファッションスタイリング
	4	第2章 ファッションコーディネート	テキスト準備 3.ビジネスにおけるスタイリング提案、4.ディスプレイ知識
	5	第3章 ファッション商品知識	テキスト準備 1.アパレルアイテムの知識
	6	第3章 ファッション商品知識	テキスト準備 2.シルエットの知識、3.ディテールの知識
	7	第3章 ファッション商品知識	テキスト準備 4.品質・品質表示の知識、5.サイズの知識
	8	第3章 ファッション商品知識	テキスト準備 6.繊維・糸の知識、7.織物の知識
	9	第3章 ファッション商品知識	テキスト準備 8.染色の知識、9.ニットの知識
	10	第4章 ファッションデザイン	テキスト準備 1.デザイン画と製品図の理解、2.デザインと機能
	11	第4章 ファッションデザイン	テキスト準備 3.色彩基礎知識、4.柄の知識
	12	第5章 ファッション・エンジニアリング	テキスト準備 1.服飾造形に関する基礎知識
	13	第5章 ファッション・エンジニアリング	テキスト準備 2.パターンに関する基礎知識、3.アパレル製造の基礎知識
	14	後期試験	テキスト / 試験問題 準備
	15	過去問対策	テキスト / 試験問題 準備
	16	過去問対策	テキスト / 試験問題 準備
	17	過去問対策	テキスト / 試験問題 準備
	18	過去問対策	テキスト / 試験問題 準備
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ファッション学Ⅱ	指導担当者名	舞木 克奈子
実務経験	アパレル企業実務経験9年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	4 単位	総時間	60 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	戦後から今日まで様々に変化したファッションの歴史、ファッション・コーディネートの種類、ファッション・ビジネス、商品知識や企画の立て方など、スタイリストとしての基本的な知識、専門技術を理解させる。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	学校法人 文化学園 文化出版局 発行「スタイリスト&コーディネーターの条件」/モードエモード		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	第5章 ファッション商品知識	テキスト準備 シャツ / ブラウス / ワンピース 等
	2	第5章 ファッション商品知識	テキスト準備 ジャケット / コート / 帽子 等
	3	第6章 ファッションビジネス	テキスト準備 マーチャンダイジングの定義 等
	4	第6章 ファッションビジネス	テキスト準備 市場調査 / ショップリサーチの実例 等
	5	第6章 ファッションビジネス	テキスト準備 マーケットセグメンテーション 等
	6	第7章 ファッションショー	テキスト準備 ショーの目的 / ショーの会場と形態 / 舞台案 / 企画のポイント 等
	7	第7章 ファッションショー	テキスト準備 コンセプト分析 / イメージ分析 / デザインの具体化 等
	8	第7章 ファッションショー	テキスト準備 イメージとデザイン画 / モデル / プレス担当 等
	9	第8章 ファッション心理学	テキスト準備 ファッション心理学とは 等
	10	第9章 ファッションの専門用語	テキスト準備 アースカラー / アールデコ / アイコンショップ 等
	11	第10章 ビジネスマナーの基本知識	テキスト準備 身だしなみ / ヘアスタイルとメイクアップ 等
	12	ファッション映画について	ファッション映画鑑賞・レポート
	13	ファッション映画について	ファッション映画鑑賞・レポート
	14	期末試験	テスト問題準備
	15	期末試験フィードバック	テスト問題準備
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ファッション学Ⅱ	指導担当者名	舞木 克奈子
実務経験	アパレル企業実務経験9年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	4 単位	総時間	60 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	戦後から今日まで様々に変化したファッションの歴史、ファッション・コーディネートの種類、ファッション・ビジネス、商品知識や企画の立て方など、スタイリストとしての基本的な知識、専門技術を理解させる。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	学校法人 文化学園 文化出版局 発行「スタイリスト&コーディネーターの条件」/モードエモード		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	時代のファッションアイコンについて	レポート作成
	2	時代のファッションアイコンについて	グループディスカッション
	3	ファッションとSNSについて	SNS市場調査
	4	ファッションとSNSについて	レポート作成
	5	ファッションとSNSについて	プレゼンテーション
	6	ブランド調査	モードエモード・WEB・市場調査
	7	ブランド調査	ブランドの歴史について
	8	ブランド調査	ブランドデザイナーについて
	9	ブランド調査	マップ作成
	10	ブランド調査	プレゼンテーション
	11	ファッション映画について	ファッション映画鑑賞・レポート
	12	ブランド調査	プレゼンテーション
	13	ファッション映画について	ファッション映画鑑賞・レポート
	14	ニュアンスコーデ・ドレスコードDAY	ニュアンスコーディネート・ドレスコードについてレポート
	15	期末試験	テスト問題準備
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	パーソナルカラー	指導担当者名	小池 久子
実務経験	カラーコーディネーター 実務経験14年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	6単位	総時間	90時間 週時間数 3時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・パーソナルカラー検定モジュール1の取得。 ・ファッション業界において通用するカラーの知識を身に付ける。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	はじめてのパーソナルカラー/パーソナルカラー配色カード/モジュール1配色ワークブック/新配色カード199		
授業外学習 の方法	テキストの範囲を読んでおく。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	第1章式の自然を表す色 日本の色の歴史赤系、橙系	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	2	第1章色と生活 色の種類 赤系統	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	3	第1章色の種類橙系統 第2章色の仕組みⅠ 光について	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	4	第1章色の種類 黄系統 第2章色の仕組みⅡ 光源、目の構造	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	5	第1章日本の色の歴史 身分、禁色、襲の色目 日本の色の歴史 黄系、緑系	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	6	第1章わび・さび 江戸時代の色彩文化 日本の色の歴史 青系、紫系	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	7	ファッション概論、ブライダル色彩	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	8	肌、皮膚、髪 色と種類	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	9	第1章色の種類 青系統 第2章CUS色調	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	10	第1章色の種類緑系統 第2章色の三属性 CUS色相	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	11	パーソナルカラーの特徴 色の種類(グレー)	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	12	パーソナルカラー診断 色彩演習	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	13	色彩心理・色彩アートセラピー	色彩演習
	14	色彩心理・色彩アートセラピー	色彩演習
	15	色彩心理・色彩アートセラピー	色彩演習
	16	色彩心理・色彩アートセラピー	色彩演習
	17	色彩心理・色彩アートセラピー	色彩演習
	18	色彩心理・色彩アートセラピー	色彩演習
	19	テスト	確認テスト
	20	検定試験	パーソナルカラー検定 モジュール1受験
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	パーソナルカラー	指導担当者名	小池 久子
実務経験	カラーコーディネーター 実務経験14年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	6単位	総時間	90時間 週時間数 3時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・パーソナルカラー検定モジュール1の取得。 ・ファッション業界において通用するカラーの知識を身に付ける。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	はじめてのパーソナルカラー/パーソナルカラー配色カード/モジュール1配色ワークブック/新配色カード199		
授業外学習 の方法	テキストの範囲を読んでおく。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	パーソナルカラー診断 色彩演習	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	2	パーソナルカラー診断 色彩演習	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	3	パーソナルカラー診断 色彩演習	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	4	パーソナルカラー診断 色彩演習	セルフ診断
	5	パーソナルカラー診断 色彩演習	パーソナルカラーマップ作成
	6	パーソナルカラー診断 色彩演習	パーソナルカラーマップ作成
	7	パーソナルカラー診断 色彩演習	診断トレーニング
	8	パーソナルカラー診断 色彩演習	診断トレーニング
	9	パーソナルカラー診断 色彩演習	診断トレーニング
	10	色彩心理・色彩アートセラピー	色彩演習
	11	色彩心理・色彩アートセラピー	色彩演習
	12	色彩心理・色彩アートセラピー	色彩演習
	13	色彩心理・色彩アートセラピー	色彩演習
	14	色彩心理・色彩アートセラピー	色彩演習
	15	色彩心理・色彩アートセラピー	色彩演習
	16	色彩心理・色彩アートセラピー	色彩演習
	17	テスト	確認テスト
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	アパレルメーキング I	指導担当者名	笹原 和加子
実務経験	パタンナー 実務経験22年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	1 単位	総時間	30 時間 週時間数 1 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・被服に関する総合的な知識と製作技術を習得する。(ソーイングベーシック・パターンベーシック) ・創造力と美的感性の開発を目指す。 ・服飾造形の基礎知識から、それぞれの基本的な服種(アイテム)の「服作り」を通して、服飾全般の知識と応用を学ぶ。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	学校法人文化学園 文化出版局 発行 「服飾造形の基礎」/「スカート・パンツ」/「ブラウス・ワンピース」		
授業外学習の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	第1章 服飾造形の概要	衣服と服飾造形、衣服の分類、衣服制作のプロセス
	2	第2章 服飾造形の概要	衣服製作のための用具
	3	第3章 衣服製作のための人体と計測	衣服制作のための人体について
	4	第3章 衣服製作のための人体と計測	衣服制作のための人体計測
	5	第4章 パターン製作の基礎	平面作図と立体裁断について、原型について
	6	第4章 パターン製作の基礎	平面作図の基礎
	7	第4章 パターン製作の基礎	体型と原型
	8	第4章 パターン製作の基礎	パターン操作法
	9	第5章 衣服素材と付属材料	衣服素材とデザイン、付属材料
	10	第6章 裁断縫製の基礎	使用量の見積もり方、地づめ、地直し、生地を表裏の見分け方
	11	第6章 裁断縫製の基礎	裁断、印付け
	12	第6章 裁断縫製の基礎	布地に合わせた糸、針の選び方
	13	第6章 裁断縫製の基礎	基本縫い・手縫い
	14	第6章 裁断縫製の基礎	ミシン縫いの基本
	15	スカート制作・提出	テキスト準備 提出確認
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	アパレルメーキング I	指導担当者名	笹原 和加子
実務経験	パタンナー 実務経験22年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	1 単位	総時間	30 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・被服に関する総合的な知識と製作技術を習得する。 ・創造力と美的感性の開発を目指す。 ・服飾造形の基礎知識から、それぞれの基本的な服種(アイテム)の「服作り」を通して、服飾全般の知識と応用を学ぶ。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	学校法人文化学園 文化出版局 発行 「服飾造形の基礎」/「スカート・パンツ」/「ブラウス・ワンピース」		
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画 後 期	1	スカート(展開デザイン)制作	テキスト準備 スカートの基礎知識の習得
	2	スカート(展開デザイン)制作	テキスト準備 スカートの基礎知識の習得
	3	スカート(裏)制作・発表	テキスト準備 提出確認
	4	第1章 ブラウス	ブラウスについて、ブラウスの名称、デザインと作図
	5	第1章 ブラウス	仮縫い方法と試着補正法
	6	第1章 ブラウス	縫製法
	7	第1章 ブラウス	部分縫い・前立て
	8	第1章 ブラウス	部分縫い・タック
	9	第1章 ブラウス	部分縫い・シャーリング
	10	第1章 ブラウス	部分縫い・スリット
	11	オリジナル制作	縫製確認
	12	オリジナル制作	縫製確認
	13	オリジナル制作	縫製確認
	14	オリジナル制作	縫製確認
	15	提出	提出確認
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	パターンメイキング I	指導担当者名	笹原 和加子
実務経験	パタンナー 実務経験22年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・被服に関する総合的な知識と製作技術を習得する。 ・パターンメイキング技術検定3級取得を目指す。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行 「パターンメイキング3級ガイドブック」 ・学校法人文化学園 文化出版局 発行 「工業用パターンメイキング」 		
授業外学習の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	パターンメイキング技能検定ガイダンス	パターンメイキング技能検定とは
	2	パターンメイキング技能検定の内容	衣服製作のための用具
	3	既製服の概念	既製服の基礎知識
	4	既製服の概念	パターンメイキング用語
	5	ファーストパターンメイキング	ファーストパターンメイキングとは 筆記科目
	6	ファーストパターンメイキング	フラットパターンメイキングの基礎知識 理論・製図科目
	7	ファーストパターンメイキング	フラットパターンメイキング実技1 身頃(縮尺) 理論・製図科目
	8	ファーストパターンメイキング	フラットパターンメイキング実技2 えり(縮尺) 理論・製図科目
	9	ファーストパターンメイキング	フラットパターンメイキング実技3 えり(縮尺) 理論・製図科目
	10	ファーストパターンメイキング	フラットパターンメイキング実技4 スカート(縮尺) 理論・製図科目
	11	ファーストパターンメイキング	フラットパターンメイキング実技(実寸) 実技科目
	12	ドレーピングの基礎知識	理論・製図科目
	13	ドレーピングの実技	実技科目
	14	工業パターンメイキング	工業パターンメイキングとは、工業用パターンの記号 理論・製図科目
	15	工業パターンメイキング	工業パターンメイキングの基礎知識 理論・製図科目
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	パターンメイキング I	指導担当者名	笹原 和加子
実務経験	パタンナー 実務経験22年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・被服に関する総合的な知識と製作技術を習得する。 ・パターンメイキング技術検定3級取得を目指す。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「パターンメイキング3級ガイドブック」 ・学校法人文化学園 文化出版局 発行「工業用パターンメイキング」 		
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	グレーディングとは	理論科目
	2	グレーディング実技	実技
	3	グレーディング実技	実技
	4	グレーディング実技	実技
	5	グレーディング実技	実技
	6	素材	素材の知識
	7	素材	理論・製図科目
	8	素材	素材とファーストパターンメイキング
	9	素材	理論・製図科目
	10	検定対策	過去問対策
	11	検定対策	過去問対策
	12	検定対策	過去問対策
	13	検定対策	過去問対策
	14	検定対策	過去問対策
	15	検定対策	過去問対策
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	商品企画 I	指導担当者名	大島 成也
実務経験	ファッションデザイナー 実務経験36年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	企画書づくりに必要なマーケティングの基礎からプレゼンテーションの技術までを学ぶ。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	参考配布資料		
授業外学習の方法	授業内での配布資料の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	企画書とはどのようなものか	プリント準備 あなたのつくる企画書があなたの評価を作る 等
	2	企画書とはどのようなものか	プリント準備 優れた企画案と正しい準備で成功の企画書をつくる 等
	3	企画書づくりに必要な情報とのかかわり方	プリント準備 企画書づくりに必要な変化を読み取るための源情報 等
	4	企画書づくりに必要な情報とのかかわり方	プリント準備 ビジネスに必要な情報をインターネットから検索してみよう 等
	5	企画書づくりに必要な情報とのかかわり方	プリント準備 情報分析の第一歩は気づき情報のあらい直しから 等
	6	成功を呼ぶ企画テーマづくり	プリント準備 稀代キーワードを上手く活用して、ヒットの企画書をつくる 等
	7	成功を呼ぶ企画テーマづくり	プリント準備 ターゲットに注目して、時代を先取りする企画テーマをつくる 等
	8	成功を呼ぶ企画テーマづくり	プリント準備 生活向上型の企画テーマも発想の転換でヒットを生み出す 等
	9	受け手をうならせる企画案をつくろう	プリント準備 企画書を生かすも殺すも企画案の出来次第 等
	10	受け手をうならせる企画案をつくろう	プリント準備 ヒットの企画案の基本になるのは商品コンセプト 等
	11	受け手をうならせる企画案をつくろう	プリント準備 クリエイティブな発想でコンセプトを商品化しよう
	12	期末試験	試験問題準備
	13	中間試験フィードバック / 企画案のための「調査」のポイント	プリント準備 あなたの私的な仮説は「調査」によって、公的な根拠を獲得する
	14	企画案のための「調査」のポイント	プリント準備 仮説どおりの評価が得られるのか、コンセプトをチェックする 等
	15	企画案のための「調査」のポイント	プリント準備 ターゲットが心惹かれる訴求ポイントが打ち出せているか 等
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	商品企画 I	指導担当者名	大島 成也
実務経験	ファッションデザイナー 実務経験36年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	企画書づくりに必要なマーケティングの基礎からプレゼンテーションの技術までを学ぶ。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	参考配布資料		
授業外学習 の方法	授業内での配布資料の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計 画 後 期	1	ビジュアルな企画書はこうつくる	プリント / PC準備 説得力のある企画書には、ビジュアル表現技術は欠かせない 等
	2	ビジュアルな企画書はこうつくる	プリント / PC準備 企画書づくりに大切なコトバの表現技術を確認しておこう 等
	3	ビジュアルな企画書はこうつくる	プリント / PC準備 マップを使って、企画の有望性をロジカルに表現しよう 等
	4	パソコン活用の企画書づくり	プリント / PC準備 Power Pointでビジュアルな企画書づくりもこんなに簡単 等
	5	パソコン活用の企画書づくり	プリント / PC準備 プレゼンテーションに便利なスライド一覧や発表者用資料 等
	6	企画を通すプレゼンテーション	プリント / PC準備 綿密な準備がプレゼンテーションを成功させる 等
	7	企画を通すプレゼンテーション	プリント / PC準備 見せ方次第で、プレゼンテーションの成功・不成功が決まる 等
	8	卒業制作の企画書を作成してみよう	プリント / PC準備 情報収集 / 企画テーマづくり 等
	9	卒業制作の企画書を作成してみよう	プリント / PC準備 企画案の作成 / 企画案の調査 等
	10	卒業制作の企画書を作成してみよう	プリント / PC準備 企画書作成 等
	11	卒業制作の企画書を作成してみよう	プリント / PC準備 企画書作成 等
	12	卒業制作の企画書を作成してみよう	プリント / PC準備 企画書作成 等
	13	卒業制作の企画書を作成してみよう	プリント / PC準備 企画書作成 / プレゼンテーション準備
	14	卒業制作の企画書を作成してみよう	プリント / PC準備 企画書作成 / プレゼンテーション準備
	15	プレゼンテーション	プリント / PC準備 発表
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	デザイン画 I	指導担当者名	大島 成也
実務経験	ファッションデザイナー 実務経験36年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションデザイン画の基礎を習得する。 ・画材の使用方法を習得する。 ・コンテスト入賞を目指す。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	学校法人文化学園 文化出版局 発行「ファッションデザイン画」		
授業外学習 の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・デザイン画をより多く書くことでバランス、構成を理解する。 		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	ファッション画の技法・デザイン画について	テキスト準備 オリテ・ヒアリング・動機づけ
	2	画材の説明、トレーニング	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する
	3	絵の具	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する
	4	パステル	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する
	5	人体について	テキスト、コピック各種準備 人体構成の知識習得する
	6	デッサン、クロッキー	テキスト、コピック各種準備 人体構成の知識習得する
	7	プロポーション	テキスト、コピック各種準備 バランス構成の知識習得する
	8	ポーズ	テキスト、コピック各種準備 バランス構成の知識習得する
	9	デッサン、クロッキー	テキスト、コピック各種準備 バランス構成の知識習得する
	10	部分練習、着装画	テキスト、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する
	11	写真模写	テキスト、コピック各種準備 バランス構成の知識習得する
	12	彩色デザイン画	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する
	13	基本着装	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 コーディネート含む
	14	造形トレーニング	テキスト、コピック各種準備 着装相モデル
	15	テーマ別創作デザイン	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 イメージソースの膨らませ方
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	デザイン画 I	指導担当者名	大島 成也
実務経験	ファッションデザイナー 実務経験36年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションデザイン画の基礎を習得する。 ・画材の使用方法を習得する。 ・コンテスト入賞を目指す。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	学校法人文化学園 文化出版局 発行「ファッションデザイン画」		
授業外学習 の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・デザイン画をより多く書くことでバランス、構成を理解する。 		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後期	1	コンペ対策	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 イメージソースの膨らませ方
	2	材質表現	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する
	3	写真の模写	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する
	4	自然をヒントに	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する
	5	抽象画の構成	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する
	6	省略画	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 抽象画レッスン
	7	ディフォルメ化	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 抽象画レッスン
	8	ディフォルメ化	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 抽象画レッスン
	9	コンペ制作	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 テーマ別発想トレーニング
	10	コンペ制作	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 テーマ別発想トレーニング
	11	コンペ制作	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 テーマ別発想トレーニング
	12	コンペ制作	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 テーマ別発想トレーニング
	13	コンペ制作	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 テーマ別発想トレーニング
	14	コンペ制作	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 テーマ別発想トレーニング
	15	期末試験	デザイン画作成、提出
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	デジタルデザイン I	指導担当者名	熊田 裕太
実務経験	グラフィックデザイナー 実務経験11年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	アパレル企画に必要な Illustratorの習得。 (制作課題を通しアパレルメーカーの実践的な作業に取組み、必要な内容、技術を身につけさせる)		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	「これからはじめるIllustratorの本」/「これからはじめるPhotoshopの本」		
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行った操作の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	基本操作編	Illustratorの基本操作
	2	基本操作編	Illustratorの基本操作
	3	基本操作編	オブジェクトの基本操作
	4	基本操作編	オブジェクトの基本操作
	5	基本操作編	カラー設定の基本
	6	基本操作編	オブジェクト編集
	7	基本操作編	文字編集の基本操作
	8	基本操作編	パスの基本操作
	9	基本操作編	パスの基本操作
	10	応用操作編	オブジェクトの応用操作
	11	応用操作編	オブジェクトの応用操作
	12	応用操作編	カラー設定の応用操作
	13	応用操作編	カラー設定の応用操作
	14	応用操作編	文字編集の応用操作
	15	応用操作編	文字編集の応用操作
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	デジタルデザイン I	指導担当者名	熊田 裕太
実務経験	グラフィックデザイナー 実務経験11年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	アパレル企画に必要なIllustratorの習得。 (制作課題を通しアパレルメーカーの実践的な作業に取組み、必要な内容、技術を身につけさせる)		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	「これからはじめるIllustratorの本」/「これからはじめるPhotoshopの本」		
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行った操作の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	応用操作編	パスの応用操作
	2	コンテンツ制作編	パスの応用操作
	3	コンテンツ制作編	イラストレーション
	4	コンテンツ制作編	イラストレーション
	5	コンテンツ制作編	ロゴマーク
	6	コンテンツ制作編	ロゴマーク
	7	コンテンツ制作編	Webデザイン
	8	コンテンツ制作編	Webデザイン
	9	コンテンツ制作編	グラフを作成
	10	コンテンツ制作編	グラフを作成
	11	コンテンツ制作編	印刷原稿の作成
	12	コンテンツ制作編	印刷原稿の作成
	13	コンテンツ制作編	印刷原稿の作成
	14	コンテンツ制作編	印刷原稿の作成
	15	コンテンツ制作編	印刷原稿の作成
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ファッション画	指導担当者名	大坂 美智子
実務経験	デザイナー・イラストレーター 実務経験1年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	2 単位	総時間	60 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コピックの技法や絵を学び、絵力を高める ・ファッションイラストを学びTシャツやグッズデザインに活かす ・創造力を高める 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	文化学園大学 ファッションデザイン学講座「ファッション画」		
授業外学習 の方法	ポートフォリオを作成する。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	自己紹介/授業内容/目的
	2	コピック解説	使い方と注意点
	3	コピック解説	塗り絵
	4	アナログ実習	ファッションイラスト(食べ物編)
	5	アナログ実習	実習発表
	6	アナログ実習	ファッションイラスト(動物編)
	7	アナログ実習	実習発表
	8	アナログ実習	ファッションイラスト(金属・アクセサリ編)
	9	アナログ実習	実習発表
	10	アナログ実習	ファッションイラスト(ブランドファッション編)
	11	アナログ実習	実習発表
	12	アナログ実習	イベントグッズデザイン
	13	アナログ実習	イベントグッズデザイン
	14	アナログ実習	実習発表
	15	前期期末課題	期末課題提出(イベントグッズデザイン)
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ファッション画	指導担当者名	大坂 美智子
実務経験	デザイナー・イラストレーター 実務経験1年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	2 単位	総時間	60 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コピックの技法や絵を学び、絵力を高める ・ファッションイラストを学びTシャツやグッズデザインに活かす ・創造力を高める 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	文化学園大学 ファッションデザイン学講座「ファッション画」		
授業外学習 の方法	ポートフォリオを作成する。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	ファッション画制作	デザイン構成
	2	ファッション画制作	ファッション画作品製作
	3	ファッション画制作	ファッション画作品製作
	4	ファッション画制作	ファッション画作品製作
	5	ファッション画制作	ファッション画作品製作
	6	卒修展作品制作	デザイン構成
	7	卒修展作品制作	卒修展作品制作
	8	卒修展作品制作	卒修展作品制作
	9	卒修展作品制作	卒修展作品制作
	10	卒修展作品制作	卒修展作品制作
	11	卒修展作品制作	卒修展作品制作
	12	卒修展作品制作	卒修展作品制作
	13	卒修展作品制作	卒修展作品制作
	14	卒修展作品制作	卒修展作品制作
	15	後期期末課題	卒修展作品完成・発表
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	商品企画Ⅱ	指導担当者名	大島 成也
実務経験	ファッションデザイナー 実務経験36年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	企画書づくりに必要なマーケティングの基礎からプレゼンテーションの技術までを学ぶ。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	参考配布資料		
授業外学習 の方法	授業内での配布資料の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	ブランドとは何か	プリント準備 ブランドとは
	2	ブランドとは何か	プリント準備 ブランドとは
	3	ブランドとは何か	プリント準備 ブランドの構成要素
	4	ブランドとは何か	プリント準備 ブランドの構成要素
	5	ブランドとは何か	プリント準備 ブランディングとは何か
	6	ブランドとは何か	プリント準備 ブランディングとは何か
	7	ブランドとは何か	プリント準備 ブランディング種類
	8	ブランドとは何か	プリント準備 ブランディングの現場から ブランディングとリサーチ
	9	立脚点を揃える	ブランディングに対する誤解
	10	立脚点を揃える	ブランディングの現場から① ブランディング×プロジェクト
	11	環境変化を捉える	世の中の連動を捉える:PEST分析
	12	環境変化を捉える	世の中の連動を捉える:PEST分析
	13	環境変化を捉える	市場の機会を見出す:3C分析
	14	環境変化を捉える	ブランディングの現場から②
	15	期末テストフィードバック	テスト問題準備
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	商品企画Ⅱ	指導担当者名	大島 成也
実務経験	ファッションデザイナー 実務経験36年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	企画書づくりに必要なマーケティングの基礎からプレゼンテーションの技術までを学ぶ。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	参考配布資料		
授業外学習の方法	授業内での配布資料の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	ブランド戦略を策定する	プリント準備 世の中の機運を捉える:PEST分析
	2	ブランド戦略を策定する	プリント準備
	3	ブランド戦略を策定する	プリント準備 市場の機会を見出す:3C分析
	4	パソコン活用の企画書づくり	プリント準備 ブランディングの現場 ブランディング×分析
	5	企画を通すプレゼンテーション	プリント準備 ブランドのアイデンティティを策定する
	6	卒業制作の企画書を作成してみよう	プリント準備 ブランド提供価値を設定する
	7	卒業制作の企画書を作成してみよう	プリント準備 知覚品質を設定する
	8	卒業制作の企画書を作成してみよう	プリント準備 ブランドパーソナリティを設定する
	9	評価指標を設定する	プリント準備 ブランドエクイティを理解する
	10	評価指標を設定する	プリント準備 KPIとは?KPIの設定方法とKPI/KGI指標
	11	評価指標を設定する	ブランディングとワークショップ
	12	STP戦略を策定する	セグメンテーション:消費者や市場を分類する
	13	STP戦略を策定する	ターゲティング:有望なターゲットを設定
	14	期末テスト	テスト問題準備
	15	期末テストフィードバック	テスト問題準備
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	デジタルデザインⅡ	指導担当者名	熊田 裕太
実務経験	グラフィックデザイナー 実務経験11年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3単位	総時間	90時間 週時間数 3時間
学習到達目標	アパレル・ファッション業界でマルチに活躍できる人材を目指し、IllustratorやPhotoshopを学びデジタルスキルを身に付ける。デジタルデザイン力を伸ばし、ファッションデザインや商品企画に活かす。		
評価方法 評価基準	ポートフォリオを作成。クオリティとプレゼンテーションを確認し、評価を行う。		
使用教材	参考配布資料		
授業外学習 の方法	授業内で出された課題を仕上げる。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	評価基準・構想・今後の取り組み・製作イメージの構築(参考事例紹介・ラフ案作成)
	2	スキャン・切り抜き・データの作成	スキャニング・切り抜き・パスデータの作成
	3	ロゴ(マーク・タイプ)の作成①	ラフ案からスキャニングして、パスデータの作成
	4	ロゴ(マーク・タイプ)の作成②	ロゴマークを作成・調整
	5	名刺作成①	作成したロゴを取り入れ、名刺を作成する
	6	名刺作成②	作成したロゴを取り入れ、名刺を作成する
	7	ショップカード作成①	画像・地図・QRを取り入れながら作成していく
	8	ショップカード作成②	画像・地図・QRを取り入れながら作成していく
	9	ショップカード作成③	画像・地図・QRを取り入れながら作成していく
	10	DM作成①	お客様にDMを送るためのポストカードを作成する
	11	DM作成②	お客様にDMを送るためのポストカードを作成する
	12	POP作成①	A4サイズにて商品紹介のチラシ作成
	13	POP作成②	A4サイズにて商品紹介のチラシ作成
	14	POP作成③	A4サイズにて商品紹介のチラシ作成
	15	デザイン調整・提出(前期期末課題)	ロゴ・名刺・ショップカード・DM・POPを提出
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	デジタルデザインⅡ	指導担当者名	熊田 裕太
実務経験	グラフィックデザイナー 実務経験11年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	アパレル・ファッション業界でマルチに活躍できる人材を目指し、IllustratorやPhotoshopを学びデジタルスキルを身に付ける。デジタルデザイン力を伸ばし、ファッションデザインや商品企画に活かす。		
評価方法 評価基準	ポートフォリオを作成。クオリティとプレゼンテーションを確認し、評価を行う。		
使用教材	参考配布資料		
授業外学習 の方法	授業内で出された課題を仕上げる。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	SNS (Instagram) 向け画像作成①	アイコン・ストーリーズ・フィード用の画像作成
	2	SNS (Instagram) 向け画像作成②	アイコン・ストーリーズ・フィード用の画像作成
	3	SNS (Instagram) 向け画像作成③	アイコン・ストーリーズ・フィード用の画像作成
	4	SNS・WEB向けバナー画像作成①	広告宣伝を見据えて指定サイズで画像作成
	5	SNS・WEB向けバナー画像作成②	広告宣伝を見据えて指定サイズで画像作成
	6	SNS・WEB向けバナー画像作成③	広告宣伝を見据えて指定サイズで画像作成
	7	パッケージ作成①	紙袋・ギフト向け梱包材などの作成
	8	パッケージ作成②	紙袋・ギフト向け梱包材などの作成
	9	ノベルティーの作成①	お客様に配布する商材を決めて作成
	10	ノベルティーの作成②	お客様に配布する商材を決めて作成
	11	ポートフォリオの作成①	最終発表に向けたポートフォリオの作成
	12	ポートフォリオの作成②	最終発表に向けたポートフォリオの作成
	13	ポートフォリオの作成③	最終発表に向けたポートフォリオの作成
	14	ポートフォリオの作成④	最終発表に向けたポートフォリオの作成
	15	ポートフォリオ提出・プレゼンテーション(後期期末テスト)	1名10分でポートフォリオの発表を行う
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	【FDコース】アパレルメーキングⅡ	指導担当者名	笹原 和加子
実務経験	パタンナー 実務経験22年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	2 単位	総時間	60 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・被服に関する総合的な知識と製作技術を習得する。 ・創造力と美的感性の開発を目指す。 ・服飾造形の基礎知識から、それぞれの基本的な服種(アイテム)の「服作り」を通して、服飾全般の知識と応用を学ぶ。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	学校法人文化学園 文化出版局 発行 「服飾造形の基礎」/「スカート・パンツ」/「ブラウス・ワンピース」/「ジャケット・ベスト」		
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	アパレル企業におけるパターンメーキング	アパレル企業の構造、パターンメーカーの業務、CAD
	2	基礎知識	工業用ボディについて、パターンメーキングの基礎
	3	基礎知識	用具、ボディのガイドラインの位置と入れ方
	4	基礎知識	トワルの種類と準備
	5	基礎知識	基本テクニック(ピンの打ち方、縫い代切込み、マーキング)
	6	基礎知識	基本テクニック(ビドラフティングとパターンチェック、縫い代つけ方)
	7	原型	ドレス原型
	8	原型	ブランド原型
	9	原型	シルエット原型 プリンセスライン原型
	10	原型	シルエット原型 ブラウス原型
	11	原型	シルエット原型 ジャケット原型 3面構成のジャケット原型
	12	原型	シルエット原型 ジャケット原型 4面構成のジャケット原型
	13	原型	シルエット原型 ジャケット原型 5面構成のジャケット原型
	14	基本アイテムのパターンメーキング	ジャケット 3面構成のジャケット
	15	基本アイテムのパターンメーキング	ジャケット 3面構成のジャケット
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	【FDコース】アパレルメーキングⅡ	指導担当者名	笹原 和加子
実務経験	パタンナー 実務経験22年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	2 単位	総時間	60 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・被服に関する総合的な知識と製作技術を習得する。 ・創造力と美的感性の開発を目指す。 ・服飾造形の基礎知識から、それぞれの基本的な服種(アイテム)の「服作り」を通して、服飾全般の知識と応用を学ぶ。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	学校法人文化学園 文化出版局 発行 「服飾造形の基礎」/「スカート・パンツ」/「ブラウス・ワンピース」/「ジャケット・ベスト」		
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	基本アイテムのパターンメーキング	ジャケット 4面構成のジャケット
	2	基本アイテムのパターンメーキング	ジャケット 4面構成のジャケット
	3	基本アイテムのパターンメーキング	ワンピースドレス
	4	基本アイテムのパターンメーキング	ワンピースドレス
	5	基本アイテムのパターンメーキング	ワンピースドレス
	6	基本アイテムのパターンメーキング	ワンピースドレス
	7	基本アイテムのパターンメーキング	ワンピースドレス
	8	基本アイテムのパターンメーキング	ワンピースドレス
	9	基本アイテムのパターンメーキング	ワンピースドレス
	10	オリジナル制作	縫製確認
	11	オリジナル制作	縫製確認
	12	オリジナル制作	縫製確認
	13	オリジナル制作	縫製確認
	14	オリジナル制作	縫製確認
	15	提出	提出確認
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	【FDコース】デザイン画Ⅱ	指導担当者名	大島 成也
実務経験	ファッションデザイナー 実務経験36年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションデザイン画の基礎から応用を習得する。 ・画材の使用方法的の復習、応用を習得する。 ・コンテスト入賞を目指す。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	学校法人文化学園 文化出版局 発行「デザイン画」		
授業外学習 の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・デザイン画をより多く書くことでバランス、構成を理解する。 		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	ファッション画の技法・デザイン画について	テキスト準備 オリテ・ヒアリング・動機づけ
	2	画材の説明、トレーニング	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する
	3	絵の具	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する
	4	パステル	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する
	5	人体について	テキスト、コピック各種準備 人体構成の知識習得する
	6	デッサン、クロッキー	テキスト、コピック各種準備 人体構成の知識習得する
	7	プロポーション	テキスト、コピック各種準備 バランス構成の知識習得する
	8	ポーズ	テキスト、コピック各種準備 バランス構成の知識習得する
	9	デッサン、クロッキー	テキスト、コピック各種準備 バランス構成の知識習得する
	10	部分練習、着装画	テキスト、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する
	11	写真模写	テキスト、コピック各種準備 バランス構成の知識習得する
	12	彩色デザイン画	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する
	13	基本着装	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 コーディネート含む
	14	造形トレーニング	テキスト、コピック各種準備 着装相モデル
	15	テーマ別創作デザイン	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 イメージソースの膨らませ方
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	【FDコース】デザイン画Ⅱ	指導担当者名	大島 成也
実務経験	ファッションデザイナー 実務経験36年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションデザイン画の基礎から応用を習得する。 ・画材の使用方法的の復習、応用を習得する。 ・コンテスト入賞を目指す。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	学校法人文化学園 文化出版局 発行「ファッションデザイン画」		
授業外学習 の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・デザイン画をより多く書くことでバランス、構成を理解する。 		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	材質表現	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する
	2	材質表現	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する
	3	写真の模写	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する
	4	自然をヒントに	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する
	5	自然をヒントに	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する
	6	抽象画の構成	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する
	7	抽象画の構成	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する
	8	省略画	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 抽象画レッスン
	9	ディフォルメ化	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 抽象画レッスン
	10	コンペ対策	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 テーマ別発想トレーニング
	11	コンペ対策	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 テーマ別発想トレーニング
	12	コンペ対策	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 テーマ別発想トレーニング
	13	コンペ対策	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 テーマ別発想トレーニング
	14	コンペ対策	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 テーマ別発想トレーニング
	15	期末試験	デザイン画作成、提出
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	【FDコース】パターンメイキングⅡ	指導担当者名	笹原 和加子
実務経験	パタンナー 実務経験22年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	2 単位	総時間	60 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・被服に関する応用的な知識と製作技術を習得する。 ・企業のターゲットとする顧客層の体型や商品コンセプトに基づく基準サイズを様々な方法で展開していく力を身につける。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行 「パターンメイキング2級ガイドブック」 ・学校法人文化学園 文化出版局 発行 「工業用パターンメイキング」 		
授業外学習の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	アパレル企業のパターンメイキング	テキスト準備
	2	人体とパターンメイキング	テキスト準備
	3	フラットパターンメイキング(平面製図)の知識	テキスト準備
	4	フラットパターンメイキング(平面展開)の知識	テキスト準備
	5	ドレーピングの知識	テキスト準備
	6	工業用パターンメイキングの知識	テキスト準備
	7	グレーディングの知識	テキスト準備
	8	グレーディングとアパレルCAD	テキスト準備
	9	マーキングと書類の知識	テキスト準備
	10	素材の知識	テキスト準備
	11	筆記検定対策	過去問用意
	12	筆記検定対策	過去問用意
	13	筆記検定対策	過去問用意
	14	デザイン展開と作図・パターン展開	テキスト準備 (オリジナル作成)
	15	デザイン展開と作図・パターン展開	テキスト準備 (オリジナル作成)
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	【FDコース】パターンメイキングⅡ	指導担当者名	笹原 和加子
実務経験	パタンナー 実務経験22年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	2 単位	総時間	60 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・被服に関する応用的な知識と製作技術を習得する。 ・企業のターゲットとする顧客層の体型や商品コンセプトに基づく基準サイズを様々な方法で展開していく力を身につける。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「パターンメイキング2級ガイドブック」 ・学校法人文化学園 文化出版局 発行「工業用パターンメイキング」 		
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	素材の知識	テキスト準備
	2	素材とファーストパターンメイキング	テキスト準備
	3	素材とサンプルチェック	テキスト準備
	4	素材と工業用パターン	テキスト準備
	5	実技試験対策	過去問用意
	6	実技試験対策	過去問用意
	7	実技試験対策	過去問用意
	8	実技試験対策	過去問用意
	9	実技試験対策	過去問用意
	10	実技試験対策	過去問用意
	11	ジャケット制作	テキスト準備ジャケットの基礎知識の習得
	12	ジャケット制作	テキスト準備ジャケットの基礎知識の習得
	13	ジャケット制作	テキスト準備ジャケットの基礎知識の習得
	14	ジャケット制作	提出確認
	15	ジャケット制作	課題提出
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	【FDコース】ハンドクラフト	指導担当者名	末廣 景子
実務経験	縫製師・縫製技術者 実務経験25年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	服飾全般における基礎知識及び技術を習得し、それを基に素材・テクニク色の組み合わせなどで様々な応用発展させ、クリエイティブな力を養うことを目標とする。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	学校法人文化学園 文化出版局 発行「手芸」		
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内容の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画 前 期	1	オリエンテーション	自己紹介・講師紹介・授業内容・目的・評価方法・授業ルール
	2	手芸の返還/手芸のデザイン	手芸についての知識を学ぶ
	3	エンブroidアリー	1 カラーエンブroidアリー
	4	エンブroidアリー	2 ゴールドエンブroidアリー
	5	エンブroidアリー	3 キャンバスワーク
	6	エンブroidアリー	4 カットワーク
	7	エンブroidアリー	5 ドロンワーク
	8	エンブroidアリー	6 ニードルウェーピング
	9	エンブroidアリー	7 アプリケ
	10	エンブroidアリー	8 スモッキング
	11	エンブroidアリー	9 シャーリング・ピンキング
	12	エンブroidアリー	10 コードエンブroidアリー
	13	エンブroidアリー	11 ビーズ・スパンクルワーク
	14	前期期末テスト	作品提出
	15	まとめ	
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	【FDコース】ハンドクラフト	指導担当者名	末廣 景子
実務経験	縫製師・縫製技術者 実務経験25年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	服飾全般における基礎知識及び技術を習得し、それを基に素材・テクニック色の組み合わせなどで様々な応用発展させ、クリエイティブな力を養うことを目標とする。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	学校法人文化学園 文化出版局 発行「手芸」		
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内容の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画 後 期	1	エンブロダイアリー	13 ミラーワーク
	2	エンブロダイアリー	14 キルティング
	3	エンブロダイアリー	15 ファゴティング
	4	レース	1 ニードルポイントレース
	5	レース	2 ボビンレース
	6	レース	3 クロッシェレース
	7	レース	4 ヘアピンレース
	8	レース	5 テネリーフレース
	9	レース	6 マクラメレース
	10	アートフラワー	アートフラワー
	11	作品制作	
	12	作品制作	
	13	作品制作	
	14	作品制作	
	15	作品制作	提出
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	【ECコース】接客マナー	指導担当者名	水野 直美
実務経験	秘書・キャビンアテンダント 実務経験10年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に満足を提供する行動「接客」を学ぶ。 ・ビジネスの場でのサービス接客というものの具体的な考え方、行動の仕方、口の利き方などを学ぶ。 ・サービス接客実務検定2級の合格を目指す。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	テキスト 早稲田教育 出版「サービス接客検定公式テキスト2級」/「サービス接客検定実問題集1-2級」		
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行った内容の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	テキスト / プリント 準備 サービススタッフの基本を考える
	2	一般常識	テキスト / プリント 準備 尊敬語 / 謙譲語 / 丁寧語の使い分け
	3	一般常識	テキスト / プリント 準備 尊敬語 / 謙譲語 / 丁寧語 確認テスト/フィードバック
	4	サービススタッフの資質 必要とされる要件	テキスト / プリント 準備 明るさと誠実さを、備えている
	5	サービススタッフの資質 必要とされる要件	テキスト / プリント 準備 適切な判断と表現を、心得ている
	6	サービススタッフの資質 必要とされる要件	テキスト / プリント 準備 身だしなみを心得ている
	7	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト / プリント 準備 良識を持ち、素直な態度がとれる
	8	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト / プリント 準備 適切な行動と協調性が期待できる
	9	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト / プリント 準備 清潔感について、理解できる
	10	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト / プリント 準備 忍耐力のある行動が期待できる
	11	専門知識 サービス知識	テキスト / プリント 準備 サービスの意義を、一応、理解できる
	12	専門知識 サービス知識	テキスト / プリント 準備 サービスの種類を知っている
	13	専門知識 従業知識	テキスト / プリント 準備 商業用語が理解できる
	14	専門知識 従業知識	テキスト / プリント 準備 経済用語が理解できる
	15	期末試験	試験問題 準備
16			
17			
18			
19			
20			
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	【ECコース】接客マナー	指導担当者名	水野 直美
実務経験	秘書・キャビンアテンダント 実務経験10年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に満足を提供する行動「接客」を学ぶ。 ・ビジネスの場でのサービス接客というものの具体的な考え方、行動の仕方、口の利き方などを学ぶ。 ・サービス接客実務検定2級の合格を目指す。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	テキスト 早稲田教育 出版「サービス接客検定公式テキスト2級」/「サービス接客検定実問題集1-2級」		
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行った内容の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	一般知識 社会常識	テキスト / プリント 準備 社会常識が理解できる
	2	一般知識 社会常識	テキスト / プリント 準備 時事問題を、一応、理解している
	3	対人技能 人間関係	テキスト / プリント 準備 一般的に、人間関係が理解できる
	4	対人技能 接客知識	テキスト / プリント 準備 対人心理が理解できる
	5	対人技能 接客知識	テキスト / プリント 準備 一般的なマナーを心得ている
	6	対人技能 接客知識	テキスト / プリント 準備 接客者としてのマナーを心得ている
	7	対人技能 話し方	テキスト / プリント 準備 接客用語を知っている
	8	対人技能 話し方	テキスト / プリント 準備 接客者としての基本的な話し方が理解できる
	9	対人技能 話し方	テキスト / プリント 準備 提示、説明の仕方が理解できる
	10	対人技能 服装	テキスト / プリント 準備 接客者としての適切な服装が理解できる
	11	実務技能 問題処理	テキスト / プリント 準備 問題処理について、理解できる
	12	実務技能 環境整備	テキスト / プリント 準備 環境整備について、理解できる
	13	実務技能 金品管理	テキスト / プリント 準備 金品管理について、理解できる
	14	実務技能 社交業務	テキスト / プリント 準備 社交儀礼の業務について、理解できる
	15	接客マナーのまとめ	テキスト / プリント 準備 練習問題の実施
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	【ECコース】フォトワーク	指導担当者名	中川 貴弘
実務経験	フォトグラファー(カメラマン) 実務経験16年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	2 単位	総時間	60 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・スタイリング撮影に必要なカメラ撮影の基礎知識として、スタジオ撮影、ロケ撮影などの違いを理解し、それぞれの表現技術を習得する。 ・アイテム撮影を通して、ECサイト担当スタッフに必要なささげ業務のひとつである撮影力を身に付ける。 ・撮影実習を通して表現の幅を広げていく。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	参考配布資料		
授業外学習の方法	写真集や雑誌などから好きな写真をみつけてストックしていく。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	オリエンテーション	自己紹介/好きな写真発表
	2	カメラの基礎①	写真とは/カメラの名称/カメラの使い方
	3	カメラの基礎②	ピント/露出/構図①
	4	カメラの基礎③	構図②/絞り
	5	お散歩撮影会	学校周辺を散策しながら撮影
	6	ライティング基礎①	自然光とライティングテクニック
	7	ライティング撮影	外での撮影
	8	ライティング撮影	室内での撮影
	9	ライティング基礎②	ライティングと被写体の特性①
	10	ライティング撮影	被写体の特性を考えた撮影
	11	画像編集	画像編集テクニック
	12	三脚の使い方	三脚を使用した撮影
	13	商品撮影	商品撮影・物撮りテクニック
	14	商品撮影	ECサイト用商品撮影
	15	前期期末課題	作品提出
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	【ECコース】フォトワーク		指導担当者名	中川 貴弘	
実務経験	フォトグラファー(カメラマン) 実務経験16年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科2年		
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	2 単位	総時間	60 時間	週時間数	2 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・スタイリング撮影に必要なカメラ撮影の基礎知識として、スタジオ撮影、ロケ撮影などの違いを理解し、それぞれの表現技術を習得する。 ・アイテム撮影を通して、ECサイト担当スタッフに必要なささげ業務のひとつである撮影力を身に付ける。 ・撮影実習を通して表現の幅を広げていく。 				
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	参考配布資料				
授業外学習 の方法	写真集や雑誌などから好きな写真をみつけてストックしていく。				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 後 期	1	スクラップ帳作成	写真集や雑誌などから好きな写真をみつけてストックしていく		
	2	スタジオ撮影の基礎知識と技術	バックペーパーセッティング/シャッタースピード		
	3	卒修展作品制作「ファッションフォト」	企画構成(テーマ・構図・ファッションスタイル・演出)		
	4	卒修展作品制作「ファッションフォト」	企画構成(テーマ・構図・ファッションスタイル・演出)		
	5	卒修展作品制作「ファッションフォト」	モデル撮影①		
	6	卒修展作品制作「ファッションフォト」	モデル撮影②		
	7	卒修展作品制作「ファッションフォト」	モデル撮影③		
	8	卒修展作品制作「ファッションフォト」	モデル撮影④		
	9	卒修展作品制作「ファッションフォト」	アイテム撮影①		
	10	卒修展作品制作「ファッションフォト」	アイテム撮影②		
	11	卒修展作品制作「ファッションフォト」	アイテム撮影③		
	12	卒修展作品制作「ファッションフォト」	アイテム撮影④		
	13	卒修展作品制作「ファッションフォト」	画像編集作業①		
	14	卒修展作品制作「ファッションフォト」	画像編集作業②		
	15	後期期末テスト	卒修展作品提出・発表		
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	【ECコース】WEBマーケティング	指導担当者名	大川 翔
実務経験	WEBマーケティング企画 実務経験4年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	2 単位	総時間	60 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	WEBマーケティングの基礎から実践までを一貫して学び、実務で活かせる力を養う。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	参考配布資料		
授業外学習 の方法	授業内容の復習やまとめ		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	自己紹介/評価方法/授業ルール/授業全体図と目標
	2	WEBマーケティング概論	WEBマーケティングとは/ファッション業界におけるWEBマーケティングの重要性
	3	デジタルマーケティングの基礎	従来型マーケティングとの違い/顧客ジャーニーとタッチポイント/ペルソナ設定方法
	4	グループワーク	自分たちのターゲット顧客のペルソナ作成
	5	WEBサイト分析と設計	ユーザビリティの日本原則/UVUXデザインの重要性/高機能ファッションECサイト状況
	6	グループワーク	好きなファッションサイトの分析とフィードバック
	7	コンテンツマーケティング	コンテンツマーケティング/ファッション業界に効果的なコンテンツ/SEOの基礎
	8	グループワーク	ブランドストーリー作成
	9	SNSマーケティング基礎	各SNSプラットフォームの特性/業界に最適なSNS選び/効果的なSNS運用ポイント
	10	グループワーク	SNS運用プラン作成
	11	インフルエンサーマーケティング	インフルエンサーマーケティングの基礎/業界におけるインフルエンサーの活用
	12	リテイニング広告とディスプレイ広告	PPC広告の仕組み/Google広告の基礎知識/バナー広告の種類と効果
	13	メールマーケティングとCRM	効果的なメールマーケティングの基礎/顧客関係管理(CRM)の基礎
	14	グループワーク	シーズナルキャンペーンのメール企画
	15	中間プロジェクト発表(前期期末課題)	ミニマーケティングプラン作成/グループ発表とフィードバック
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	【ECコース】WEBマーケティング	指導担当者名	大川 翔
実務経験	WEBマーケティング企画 実務経験4年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	2 単位	総時間	60 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	WEBマーケティングの基礎から実践までを一貫して学び、実務で活かせる力を養う。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	参考配布資料		
授業外学習 の方法	授業内容の復習やまとめ		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	ECサイト運営の基礎	ECサイトの構成要素/各ECプラットフォームの特徴と選び方/在庫管理と配送の基礎
	2	グループワーク	仮想ECサイトの構築計画
	3	ECサイト最適化とCRO	CROの基礎/商品ページの効果的な作り方/写真撮影とスタイリングのポイント
	4	グループワーク	商品ページの改善提案
	5	UGCとコミュニティマーケティング	ユーザー生成コンテンツ(UGC)活用方法/コミュニティの育て方/ブランドアンバサダー
	6	グループワーク	UGCキャンペーンの企画
	7	ソーシャルセリングとライブコマース	InstagramShopping/FacebookShopping/ライブコマースの可能性
	8	グループワーク	ソーシャルセリング戦略の立案
	9	モバイルマーケティングとアプリの活用	モバイルファーストの考え方/アプリマーケティングの基礎/スマホ最適化のコンテンツ
	10	グループワーク	モバイル向けマイクロサイト企画
	11	ブランディングとWEB戦略	デジタル現代のブランディング/一貫したブランドイメージの提案
	12	グループワーク	新規ファッションブランドのブランド戦略
	13	最新トレンドと革新的マーケティング	サステナブルファッションの潮流/AR・VRの活動事例/バーチャルフィッティング
	14	グループワーク	革新的マーケティング企画
	15	最終プロジェクト(後期期末テスト)	実践的マーケティングプランの最終発表
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	【ECコース】ECリメイク	指導担当者名	笹原 和加子
実務経験	パタンナー 実務経験22年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの観点から、古着や既存衣服を再構築し、新たな価値を生み出すリメイクについて学ぶ。 ・リメイクファッションアイテムや雑貨の制作方法を学ぶ。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	参考配布資料		
授業外学習 の方法	授業内容の復習やまとめ		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	授業目的・流れを理解する。
	2	リメイクファッション概論	リメイク文化を理解する。
	3	サステナブルファッション	SDGsとの関係を学ぶ。
	4	古着市場とトレンド分析	古着市場やリメイク市場を調べる。
	5	古着市場とトレンド分析	古着市場やリメイク市場を調べる。
	6	古着市場とトレンド分析	トレンドを調査する。
	7	素材・生地の基本	生地特性を理解する。
	8	素材・生地の基本	生地特性を理解する。
	9	ミシン基礎復習	基本縫製技術を確認する。
	10	手縫い・補修技術	手作業技術を習得する。
	11	洋服お直し技術	裾上げ・サイズ修正技術を習得する。
	12	洋服お直し技術	裾上げ・サイズ修正技術を習得する。
	13	雑貨・小物制作実習	古着からポーチやポッシュェット等の雑貨・小物をデザイン・制作する。
	14	Tシャツリメイク制作	基礎作品を制作する。
	15	前期期末課題提出	期末課題の制作と提出、発表。
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	【ECコース】ECリメイク	指導担当者名	笹原 和加子
実務経験	パタンナー 実務経験22年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3単位	総時間	90時間 週時間数 3時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの観点から、古着や既存衣服を再構築し、新たな価値を生み出すリメイクについて学ぶ。 ・リメイクファッションアイテムや雑貨の制作方法を学ぶ。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	参考配布資料		
授業外学習 の方法	授業内容の復習やまとめ		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	シャツリメイク制作	アレンジ技法を学ぶ。
	2	シャツリメイク制作	アレンジ技法を学ぶ。
	3	シャツリメイク制作	アレンジ技法を学ぶ。
	4	デニムリメイク制作	厚地素材を扱う。
	5	デニムリメイク制作	厚地素材を扱う。
	6	デニムリメイク制作	厚地素材を扱う。
	7	スカート・パンツ加工	サイズ調整を学ぶ。
	8	装飾技法①	刺繍・ワッペン技法を学ぶ。
	9	装飾技法②	ダメージ加工を学ぶ。
	10	異素材組み合わせ実習	素材ミックスを学ぶ。
	11	最終作品企画	アップサイクルをテーマに最終制作の企画を立てる。
	12	ポートフォリオ作成①	企画にそってポートフォリオを制作する。
	13	制作実習	制作を進行する。
	14	ポートフォリオ制作②	ポートフォリオをまとめる。
	15	後期期末テスト	最終発表・講評
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	デジタルデザインⅢ	指導担当者名	熊田 裕太
実務経験	グラフィックデザイナー 実務経験11年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科3年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	アパレル・ファッション業界でマルチに活躍できる人材を目指し、IllustratorやPhotoshopを学びデジタルスキルを身に付ける。デジタルデザイン力を伸ばし、ファッションデザインや商品企画に活かす。		
評価方法 評価基準	クオリティとプレゼンテーションを確認し、評価を行う。		
使用教材	参考配布資料		
授業外学習の方法	授業内で出された課題を仕上げる。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	ファッションブランドの立ち上げ企画	ブランドロゴ/シーズンビジュアル(ポスター)/ショッピングバッグ/SNS用広告バナー
	2	自主制作	ブランドロゴ/シーズンビジュアル(ポスター)/ショッピングバッグ/SNS用広告バナー
	3	自主制作	ブランドロゴ/シーズンビジュアル(ポスター)/ショッピングバッグ/SNS用広告バナー
	4	自主制作	ブランドロゴ/シーズンビジュアル(ポスター)/ショッピングバッグ/SNS用広告バナー
	5	課題発表	ブランドロゴ/シーズンビジュアル(ポスター)/ショッピングバッグ/SNS用広告バナー
	6	ルックブックのビジュアル制作	モデル写真を使用し、Photoshopでルックブックのページデザインを制作
	7	自主制作	モデル写真を使用し、Photoshopでルックブックのページデザインを制作
	8	自主制作	モデル写真を使用し、Photoshopでルックブックのページデザインを制作
	9	自主制作	モデル写真を使用し、Photoshopでルックブックのページデザインを制作
	10	課題発表	モデル写真を使用し、Photoshopでルックブックのページデザインを制作
	11	テキスタイルパターン制作と応用展開	オリジナルの総柄パターンを作成しTシャツ・トートバッグ・服などにモックアップ合成
	12	自主制作	オリジナルの総柄パターンを作成しTシャツ・トートバッグ・服などにモックアップ合成
	13	自主制作	オリジナルの総柄パターンを作成しTシャツ・トートバッグ・服などにモックアップ合成
	14	自主制作	オリジナルの総柄パターンを作成しTシャツ・トートバッグ・服などにモックアップ合成
	15	課題発表	オリジナルの総柄パターンを作成しTシャツ・トートバッグ・服などにモックアップ合成
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	デジタルデザインⅢ	指導担当者名	熊田 裕太
実務経験	グラフィックデザイナー 実務経験11年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科3年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3単位	総時間	90時間 週時間数 3時間
学習到達目標	アパレル・ファッション業界でマルチに活躍できる人材を目指し、IllustratorやPhotoshopを学びデジタルスキルを身に付ける。デジタルデザイン力を伸ばし、ファッションデザインや商品企画に活かす。		
評価方法 評価基準	クオリティとプレゼンテーションを確認し、評価を行う。		
使用教材	参考配布資料		
授業外学習の方法	授業内で出された課題を仕上げる。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	ファッションイベントの広告ビジュアル制作	架空のファッションショーやPOP-UPイベントを想定し、ポスター＋SNSバナーを制作
	2	自主制作	架空のファッションショーやPOP-UPイベントを想定し、ポスター＋SNSバナーを制作
	3	自主制作	架空のファッションショーやPOP-UPイベントを想定し、ポスター＋SNSバナーを制作
	4	自主制作	架空のファッションショーやPOP-UPイベントを想定し、ポスター＋SNSバナーを制作
	5	課題発表	架空のファッションショーやPOP-UPイベントを想定し、ポスター＋SNSバナーを制作
	6	ファッション×社会課題をテーマにしたアートポスター	ファッション表現を通して社会的テーマを訴える
	7	自主制作	ファッション表現を通して社会的テーマを訴える
	8	自主制作	ファッション表現を通して社会的テーマを訴える
	9	自主制作	ファッション表現を通して社会的テーマを訴える
	10	課題発表	ファッション表現を通して社会的テーマを訴える
	11	ファッション・ビジュアルセルフブランディング	自身のスタイル・世界観を伝えるビジュアル制作
	12	自主制作	自身のスタイル・世界観を伝えるビジュアル制作
	13	自主制作	自身のスタイル・世界観を伝えるビジュアル制作
	14	自主制作	自身のスタイル・世界観を伝えるビジュアル制作
	15	課題発表	自身のスタイル・世界観を伝えるビジュアル制作
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	【FDコース】デザイン画Ⅲ	指導担当者名	大島 成也
実務経験	ファッションデザイナー 実務経験36年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科3年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3単位	総時間	90時間 週時間数 3時間
学習到達目標	各コンテスト入賞を目指す。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	学校法人文化学園 文化出版局 発行「ファッションデザイン画」		
授業外学習の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・デザイン画をより多く書くことでバランス、構成を理解する。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	オリエンテーション	各コンテストの傾向/ポートフォリオについて
	2	ナゴヤファッションコンテスト	デザイン案提出と修正
	3	ナゴヤファッションコンテスト	応募作品の作成
	4	ナゴヤファッションコンテスト	応募作品の作成と提出
	5	全国ファッションデザインコンテスト/革コン	デザイン案提出と修正
	6	全国ファッションデザインコンテスト/革コン	応募作品の作成
	7	全国ファッションデザインコンテスト/革コン	応募作品の作成と提出
	8	日暮里デザインコンテスト	デザイン案提出と修正
	9	日暮里デザインコンテスト	応募作品の作成
	10	日暮里デザインコンテスト	応募作品の作成と提出
	11	N1モードグランプリ	デザイン案提出と修正
	12	N1モードグランプリ	応募作品の作成
	13	N1モードグランプリ	応募作品の作成
	14	N1モードグランプリ	応募作品の作成
	15	N1モードグランプリ	応募作品の作成と提出
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	【FDコース】デザイン画Ⅲ	指導担当者名	大島 成也
実務経験	ファッションデザイナー 実務経験36年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科3年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	卒業制作に向けたポートフォリオとデザイン画の作成。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	学校法人文化学園 文化出版局 発行「ファッションデザイン画」		
授業外学習の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・デザイン画をより多く書くことでバランス、構成を理解する。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	卒業制作ポートフォリオ	卒業制作ポートフォリオのコンセプトづくり
	2	卒業制作ポートフォリオ	卒業制作ポートフォリオの素材集め
	3	卒業制作ポートフォリオ	卒業制作ポートフォリオの素材集め
	4	卒業制作ポートフォリオ	デザイン案(ポートフォリオの作成)
	5	卒業制作ポートフォリオ	デザイン案(ポートフォリオの作成)
	6	卒業制作ポートフォリオ	デザイン案(ポートフォリオの作成)
	7	卒業制作ポートフォリオ	デザイン案(ポートフォリオの作成)
	8	卒業制作ポートフォリオ	デザイン案(ポートフォリオの作成)
	9	卒業制作デザイン画	企画書用デザイン画作成
	10	卒業制作デザイン画	企画書用デザイン画作成
	11	卒業制作デザイン画	企画書用デザイン画作成
	12	卒業制作デザイン画	企画書用デザイン画作成
	13	卒業制作デザイン画	企画書用デザイン画作成
	14	卒業制作デザイン画	企画書用デザイン画作成
	15	期末課題提出	完成したポートフォリオ提出
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	【FDコース】パターンメイキングⅢ	指導担当者名	笹原 和加子
実務経験	パタンナー 実務経験22年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科3年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・被服に関する応用的な知識と製作技術を習得する。 ・企業のターゲットとする顧客層の体型や商品コンセプトに基づく基準サイズを様々な方法で展開していく力を身につける。 ・日本ファッション教育普及委員会パターンメイキング技術検定2級取得 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「パターンメイキング2級ガイドブック」 ・学校法人文化学園 文化出版局 発行「工業用パターンメイキング」 		
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画 前 期	1	筆記検定対策	過去問用意
	2	筆記検定対策	過去問用意
	3	筆記検定対策	過去問用意
	4	筆記検定対策	過去問用意
	5	筆記検定対策	過去問用意
	6	筆記検定対策	過去問用意
	7	筆記検定対策	過去問用意
	8	筆記検定対策	過去問用意
	9	実技試験対策	過去問用意
	10	実技試験対策	過去問用意
	11	実技試験対策	過去問用意
	12	実技試験対策	過去問用意
	13	実技試験対策	過去問用意
	14	実技試験対策	過去問用意
	15	実技試験対策	過去問用意
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	【FDコース】パターンメイキングⅢ	指導担当者名	笹原 和加子
実務経験	パタンナー 実務経験22年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科3年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・被服に関する応用的な知識と製作技術を習得する。 ・企業のターゲットとする顧客層の体型や商品コンセプトに基づく基準サイズを様々な方法で展開していく力を身につける。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「パターンメイキング2級ガイドブック」 ・学校法人文化学園 文化出版局 発行「工業用パターンメイキング」 		
授業外学習の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	オリジナル作品製作①	3年間の学びを活かしオリジナル作品のパターンを仕上げる 1作品目
	2	オリジナル作品製作①	3年間の学びを活かしオリジナル作品のパターンを仕上げる 1作品目
	3	オリジナル作品製作①	3年間の学びを活かしオリジナル作品のパターンを仕上げる 1作品目
	4	オリジナル作品製作①	3年間の学びを活かしオリジナル作品のパターンを仕上げる 1作品目
	5	オリジナル作品製作①	課題提出
	6	オリジナル作品製作②	3年間の学びを活かしオリジナル作品のパターンを仕上げる 2作品目
	7	オリジナル作品製作②	3年間の学びを活かしオリジナル作品のパターンを仕上げる 2作品目
	8	オリジナル作品製作②	3年間の学びを活かしオリジナル作品のパターンを仕上げる 2作品目
	9	オリジナル作品製作②	3年間の学びを活かしオリジナル作品のパターンを仕上げる 2作品目
	10	オリジナル作品製作②	課題提出
	11	オリジナル作品製作③	3年間の学びを活かしオリジナル作品のパターンを仕上げる 3作品目
	12	オリジナル作品製作③	3年間の学びを活かしオリジナル作品のパターンを仕上げる 3作品目
	13	オリジナル作品製作③	3年間の学びを活かしオリジナル作品のパターンを仕上げる 3作品目
	14	オリジナル作品製作③	3年間の学びを活かしオリジナル作品のパターンを仕上げる 3作品目
	15	オリジナル作品製作③	課題提出
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	【FDコース】ハンドワークⅡ	指導担当者名	末廣 景子
実務経験	縫製師・縫製技術者 実務経験25年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科3年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	服飾全般における基礎知識及び技術を習得し、それを基に素材・テクニク色の組み合わせなどで様々な応用発展させ、クリエイティブな力を養うことを目標とする。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	学校法人文化学園 文化出版局 発行「手芸」		
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内容の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	自己紹介・講師紹介・授業内容・目的・評価方法・授業ルール
	2	手芸の返還/手芸のデザイン	手芸についての知識を学ぶ
	3	エンブroidアリー	1 カラーエンブroidアリー
	4	エンブroidアリー	2 ゴールドエンブroidアリー
	5	エンブroidアリー	3 キャンバスワーク
	6	エンブroidアリー	4 カットワーク
	7	エンブroidアリー	5 ドロンワーク
	8	エンブroidアリー	6 ニードルウェーピング
	9	エンブroidアリー	7 アップリケ
	10	エンブroidアリー	8 スモッキング
	11	エンブroidアリー	9 シャーリング・ピンキング
	12	エンブroidアリー	10 コードエンブroidアリー
	13	エンブroidアリー	11 ビーズ・спанクルワーク
	14	作品制作	
	15	前期期末テスト	作品提出
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	【FDコース】ハンドワークⅡ	指導担当者名	末廣 景子
実務経験	縫製師・縫製技術者 実務経験25年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科3年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	服飾全般における基礎知識及び技術を習得し、それを基に素材・テクニック色の組み合わせなどで様々な応用発展させ、クリエイティブな力を養うことを目標とする。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	学校法人文化学園 文化出版局 発行「手芸」		
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内容の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画 後 期	1	エンブロダイアリー	13 ミラーワーク
	2	エンブロダイアリー	14 キルティング
	3	エンブロダイアリー	15 ファゴティング
	4	レース	1 ニードルポイントレース
	5	レース	2 ボビンレース
	6	レース	3 クロッシェレース
	7	レース	4 ヘアピンレース
	8	レース	5 テネリーフレース
	9	レース	6 マクラメレース
	10	アートフラワー	アートフラワー
	11	作品制作	
	12	作品制作	
	13	作品制作	
	14	作品制作	
	15	作品制作	作品提出
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	【FDコース】アパレルメーキングⅢ	指導担当者名	笹原 和加子
実務経験	パタンナー 実務経験22年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科3年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・被服に関する総合的な知識と製作技術を習得する。 ・創造力と美的感性の開発を目指す。 ・服飾造形の基礎知識から、それぞれの基本的な服種(アイテム)の「服作り」を通して、服飾全般の知識と応用を学ぶ。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	学校法人文化学園 文化出版局 発行 「服飾造形の基礎」/「スカート・パンツ」/「ブラウス・ワンピース」/「ジャケット・ベスト」		
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	アパレル企業におけるパターンメーキング	アパレル企業の構造、パターンメーカーの業務、CAD
	2	基礎知識	工業用ボディについて、パターンメーキングの基礎
	3	基礎知識	用具、ボディのガイドラインの位置と入れ方
	4	基礎知識	トワールの種類と準備
	5	基礎知識	基本テクニック(ピンの打ち方、縫い代切込み、マーキング)
	6	基礎知識	基本テクニック(ビドラフティングとパターンチェック、縫い代つけ方)
	7	原型	コート原型
	8	原型	ブランド原型
	9	原型	シルエット原型 コート原型
	10	基本アイテムのパターンメーキング	コート基本型の作図
	11	基本アイテムのパターンメーキング	トワール作成
	12	基本アイテムの制作	コート作製
	13	基本アイテムの制作	コート作製
	14	基本アイテムの制作	コート作製
	15	期末課題提出	期末課題作品(コート)提出
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	【FDコース】アパレルメーキングⅢ	指導担当者名	笹原 和加子
実務経験	パタンナー 実務経験22年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科3年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・被服に関する総合的な知識と製作技術を習得する。 ・創造力と美的感性の開発を目指す。 ・服飾造形の基礎知識から、それぞれの基本的な服種(アイテム)の「服作り」を通して、服飾全般の知識と応用を学ぶ。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	学校法人文化学園 文化出版局 発行 「服飾造形の基礎」/「スカート・パンツ」/「ブラウス・ワンピース」/「ジャケット・ベスト」		
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	オリジナル制作	縫製確認
	2	オリジナル制作	縫製確認
	3	オリジナル制作	縫製確認
	4	オリジナル制作提出	提出確認
	5	最終制作	最終制作に向けた市場・トレンド調査
	6	最終制作	企画・デザイン
	7	最終制作	パターン作図
	8	最終制作	パターン作図
	9	最終制作	トワールチェック
	10	最終制作	縫製確認
	11	最終制作	縫製確認
	12	最終制作	縫製確認
	13	最終制作	縫製確認
	14	ポートフォリオ作成	ポートフォリオまとめる
	15	後期期末テスト(発表・提出)	提出確認・プレゼンテーション
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	【ECコース】WEBショップ運営	指導担当者名	大川 翔
実務経験	WEBマーケティング企画 実務経験4年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科3年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	アパレルEC担当としてWEBサイトの企画やマーケティングを体験する。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	参考配布資料		
授業外学習 の方法	授業内容のまとめ		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画 前 期	1	WEBショップについての知識①	e-コマースの定義
	2	WEBショップについての知識②	ECサイトの定義・関連法規について
	3	EC担当の作業①	ささげ業務について
	4	EC担当の作業②	キックオフ・商品登録
	5	EC担当の作業③	在庫登録・検品・オープン作業
	6	EC担当の作業④	梱包作業・修正作業
	7	WEBショップ企画	WEBショップの企画を考える
	8	企画プレゼンテーション	各個人企画プレゼンテーション
	9	企画プレゼンテーション	各個人企画プレゼンテーション
	10	企画プレゼンテーション	各個人企画プレゼンテーション
	11	企画プレゼンテーション	各個人企画プレゼンテーション
	12	第1回WEBショップ企画会議	グループディスカッションで企画会議
	13	第2回WEBショップ企画会議	グループディスカッションで企画会議
	14	第3回WEBショップ企画会議	グループディスカッションで企画会議
	15	第4回WEBショップ企画会議	企画決定・企画発表
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	【ECコース】WEBショップ運営	指導担当者名	大川 翔
実務経験	WEBマーケティング企画 実務経験4年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科3年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	アパレルEC担当としてWEBサイトの企画やマーケティングを体験する。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	参考配布資料		
授業外学習 の方法	授業内容のまとめ		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	WEBショップ演習	WEBショップ演習
	2	WEBショップ演習	WEBショップ演習
	3	WEBショップ演習	WEBショップ演習
	4	WEBショップ演習	WEBショップ演習
	5	WEBショップ演習	WEBショップ演習
	6	WEBショップ演習	WEBショップ演習
	7	WEBショップ演習	WEBショップ演習
	8	WEBショップ演習	WEBショップ演習
	9	WEBショップ演習	WEBショップ演習
	10	WEBショップ演習	WEBショップ演習
	11	WEBショップ演習	WEBショップ演習
	12	これまでの活動まとめ	WEBショップ企画まとめ・資料作成
	13	これまでの活動まとめ	WEBショップ企画まとめ・資料作成
	14	これまでの活動まとめ	WEBショップ企画まとめ・資料作成
	15	活動発表(後期期末テスト)	これまでの取り組み発表
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	【ECコース】アパレル研究	指導担当者名	舞木 克奈子	
実務経験	アパレル企業実務経験9年		実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科3年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:
時間数(通年)	3単位	総時間	90時間	週時間数 3時間
学習到達目標	ファッションアドバイザー、ファッション業界を目指す者として常にファッションへの興味と研究心を持てる人材となる。 ファッションセンスを育みお洒落を目指す。 自身のファッションセンス、企画センス、コーディネートセンス、プレゼンセンス等、お洒落を意識しながらセンスを伸ばせる人材となるよう、個人研究やグループワークを通して学ぶ。 SNSマーケティングを学び、ファッションインスタグラマーになれる人材を目指す。			
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。			
使用教材	参考配布資料			
授業外学習 の方法	SNS調査・雑誌調査			

学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	評価基準と評価方法/学習目的/使用教材
	2	ファッションアイコン研究	自分のメンズアイコン・レディースアイコンを探す・コラージュ制作
	3	ファッションジャンル研究	好きなファッションジャンルについて最新のアイテムやコーデの特徴を研究・コラージュ
	4	ファッションブランド研究	今までの研究を基にブランド調査し研究・コラージュする
	5	トレンドアイテム研究と市場調査2025summer(グループワーク)	予算内でどんなコーデを組むか、どこで購入するかグループで企画する
	6	VMDコーディネート用アイテムバイイング(グループワーク)	予算内で2025年summerコーデを近隣ショップでバイイング
	7	アイテム物撮り/POP作成/VMD展示(グループワーク)	summerコーデ物撮り/POP作成/展示
	8	個人研究発表準備(マイファッションについて)①	プレゼンテーション用パワーポイントの作成
	9	個人研究発表準備(マイファッションについて)②	プレゼンテーション用パワーポイントの作成
	10	個人研究発表準備(マイファッションについて)③	プレゼンテーション用パワーポイントの作成
	11	個人研究発表準備(マイファッションについて)④	プレゼンテーション用パワーポイントの作成
	12	個人研究発表準備(マイファッションについて)⑤	プレゼンテーション用パワーポイントの作成
	13	マイファッションについての研究発表(前期期末テスト)	これまでの研究発表(パワポ提出・プレゼンテーションで発表)
	14	SNS インスタマーケティングの基本①	Instagramについて/Instagramのビジネス活用/Instagramと売上
	15	SNS インスタマーケティングの基本②	アカウント運用の概要と実践
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		

履修上の留意点
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。

授業計画(シラバス)

科目名	【ECコース】アパレル研究	指導担当者名	舞木 克奈子
実務経験	アパレル企業実務経験9年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科3年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	ファッションアドバイザー、ファッション業界を目指す者として常にファッションへの興味と研究心を持てる人材となる。 ファッションセンスを育みお洒落を目指す。 自身のファッションセンス、企画センス、カラーセンス、プレゼンセンス等、お洒落を意識しながらセンスを伸ばせる人材となるよう、個人研究やグループワークを通して学ぶ。 SNSマーケティングを学び、ファッションインスタグラマーになれる人材を目指す。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	参考配布資料		
授業外学習 の方法	SNS調査・雑誌調査		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	SNS 運用体制づくり①	SNS担当者について/目標の設定/インサイトの見方/データ分析
	2	SNS 運用体制づくり②	投稿の計画と振り返り/運営ガイドライン/トラブル対策
	3	SNS プロフィールの整備①	プロフィールの重要性/アカウントのコンセプト設定/アカウントの運用スタイル
	4	SNS プロフィールの整備②	ロールモデルの設定/プロフィールの整備/ハイライトの作り方/SNS担当者用語
	5	SNS クリエイティブのコツ①	コンテンツづくりの基本/投稿の基本/フィード投稿/投稿文のコツ
	6	SNS クリエイティブのコツ②	リールの作り方/運用スタイルごとのコンテンツ制作/ケーススタディ
	7	SNS コミュニケーションのとりかた①	ユーザーとの交流とファンづくり/ストーリーズの魅力と作り方/ストーリーズの補助機能
	8	SNS コミュニケーションのとりかた②	リボストのコツ/コメントへの返信/DMの基本/インスタライブのポイント
	9	SNS マーケティング施策①	マーケティング施策の併用/Instagram広告/広告作成のコツ
	10	SNS マーケティング施策②	ターゲティングについて/インスタグラマーについて/クロスメディアの活用
	11	Instagramの運用実践	これまでのInstagram運用についてアカウントをまとめレポート作成
	12	Instagramの運用実践	これまでのInstagram運用についてアカウントをまとめレポート作成
	13	Instagramの運用実践	これまでのInstagram運用についてアカウントをまとめレポート作成
	14	Instagramの運用実践	これまでのInstagram運用についてアカウントをまとめレポート作成
	15	Instagramの運用実践(後期期末テスト)	これまでのInstagram運用についてアカウントをまとめ発表
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	【ECコース】ファッション販売論Ⅱ	指導担当者名	舞木 克奈子
実務経験	アパレル企業実務経験9年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科3年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションビジネスを展開するために必要な、抽象性と物理性の両方の知識と技術を学ぶ。 ・ファッション販売能力検定2級取得。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	テキスト 一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「ファッション販売3」、「ファッション販売3 3級公式問題集」		
授業外学習の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行った内容の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	1 ファッション販売知識	テキスト準備
	2	1 ファッション販売知識	テキスト準備
	3	小テスト	問題集準備
	4	2 販売スタッフへの期待・販売スタッフの役割	テキスト準備
	5	2 販売スタッフへの期待・販売スタッフの役割	テキスト準備
	6	小テスト	問題集準備
	7	3 ファッション販売技術	テキスト準備
	8	3 ファッション販売技術	テキスト準備
	9	小テスト	問題集準備
	10	4 お客様に関する知識	テキスト準備
	11	4 お客様に関する知識	テキスト準備
	12	小テスト	問題集準備
	13	5 商品知識	テキスト準備
	14	5 商品知識	テキスト準備
	15	期末テスト	期末テスト
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	【ECコース】ファッション販売論Ⅱ	指導担当者名	舞木 克奈子
実務経験	アパレル企業実務経験9年		実務経験： 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科3年
授業方法	講義：	演習：○	実習： 実技：
時間数	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションビジネスを展開するために必要な、抽象性と物理性の両方の知識と技術を学ぶ。 ・ファッション販売能力検定2級取得。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	テキスト 一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「ファッション販売2」、「ファッション販売2級公式問題集」		
授業外学習の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行った内容の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	1 素材の種類と主要アイテム・配色の基本技術	テキスト準備
	2	1 素材の種類と主要アイテム・配色の基本技術	テキスト準備
	3	小テスト	問題集準備
	4	2 売り場づくり	テキスト準備
	5	2 売り場づくり	テキスト準備
	6	小テスト	問題集準備
	7	3 市場の変化とVMD・店舗コンセプトの具現化とVMD	テキスト準備
	8	3 市場の変化とVMD・店舗コンセプトの具現化とVMD	テキスト準備
	9	小テスト	問題集準備
	10	4 マーケティング	テキスト準備
	11	4 マーケティング	テキスト準備
	12	小テスト	問題集準備
	13	5 MDの知識と実践・リテールMD	テキスト準備
	14	5 店舗運営管理／店舗運営管理の基本・店舗計数管理	テキスト準備
	15	期末テスト	期末テスト
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	【ECコース】ファッションビジネス論Ⅱ	指導担当者名	舞木 克奈子
実務経験	アパレル企業実務経験9年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科3年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションビジネス業界へ就職し、自らが希望する職種で活躍する際に必要な知識・技術を習得させる。 ・デザイン/マーケティング情報を駆使し、商品企画から商品生産、流通、販売促進などの専門知識と技術の習得。 ・企画・創造力・洞察力等・総合的な能力を向上させる。 ・ファッションビジネス検定2級取得を目指す。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「ファッションビジネス2」/項目別試験問題集/資料配布		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおく。授業内で行う例題(問題)の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	ファッションビジネスの特性	テキスト準備
	2	ファッション生活とファッション消費	テキスト準備
	3	小テスト	問題集準備
	4	ファッション産業構造	テキスト準備
	5	ファッションマーケティング	テキスト準備
	6	小テスト	問題集準備
	7	ファッションマーチャンダイジング	テキスト準備
	8	アパレル生産と物流	テキスト準備
	9	小テスト	問題集準備
	10	ファッション流通とコミュニケーション	テキスト準備
	11	キャリアプラン	テキスト準備
	12	小テスト	問題集準備
	13	ビジネス基礎知識	テキスト準備
	14	ファッション文化とデザイン文化	テキスト準備
	15	期末テスト	期末テスト
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	【ECコース】ファッションビジネス論Ⅱ	指導担当者名	舞木 克奈子
実務経験	アパレル企業実務経験9年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科3年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションビジネス業界へ就職し、自らが希望する職種で活躍する際に必要な知識・技術を習得させる。 ・デザイン/マーケティング情報を駆使し、商品企画から商品生産、流通、販売促進などの専門知識と技術の習得。 ・企画・創造力・洞察力等・総合的な能力を向上させる。 ・ファッションビジネス検定2級取得を目指す。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「ファッションビジネス2」/項目別試験問題集/資料配布		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおく。授業内で行う例題(問題)の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	ファッションコーディネート	テキスト準備
	2	ファッション商品知識	テキスト準備
	3	小テスト	問題集準備
	4	ファッションデザイン	テキスト準備
	5	ファッションエンジニアリング	テキスト準備
	6	小テスト	問題集準備
	7	後期試験	テキスト / 試験問題 準備
	8	過去問対策	テキスト / 試験問題 準備
	9	過去問対策	テキスト / 試験問題 準備
	10	過去問対策	テキスト / 試験問題 準備
	11	過去問対策	テキスト / 試験問題 準備
	12	過去問対策	テキスト / 試験問題 準備
	13	過去問対策	テキスト / 試験問題 準備
	14	過去問対策	テキスト / 試験問題 準備
	15	期末テスト	期末テスト
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。			